

ひとつ先の風景へ  
LANDSCAPE OF FUTURE



# 高度技術者の 育成・修学支援に向けて

長崎総合科学大学

# 大学院授業料実質無料化

# 自然科学（理系）分野の人材育成へ向けた環境整備

教育未来創造会議 第一次提言（2022年5月）

グリーン・デジタル等成長分野をけん引する高度専門分野の人材育成へ継続的支援

不足するデジタル人材  
 不足するグリーン人材  
 女性理工系入学者少ない

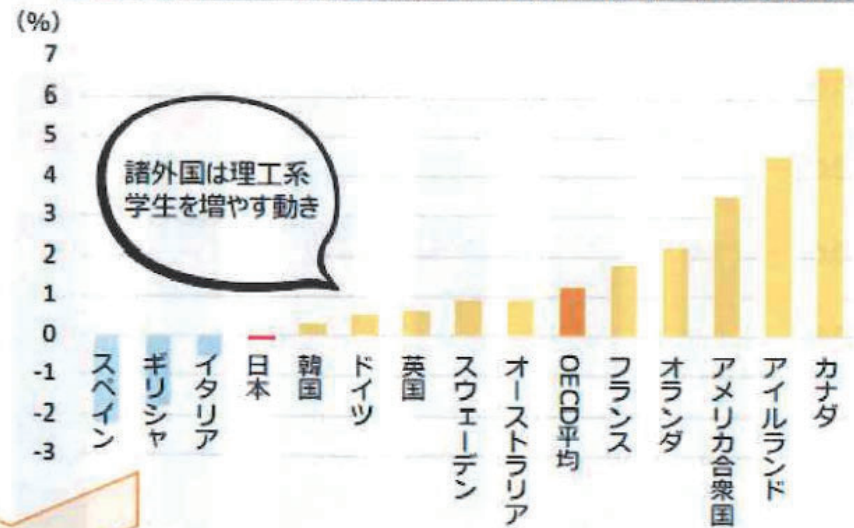


Society5.0

脱炭素化

女性活躍

全大学学部卒業生に占める理工系の卒業生割合の変化（2014年→2019年）



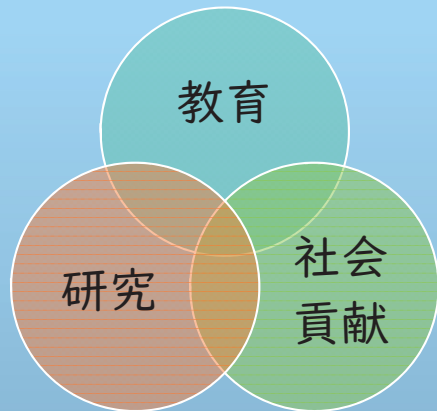
諸外国は理工系学生を増やす動き

(出所) OECD.stat「Graduates by field」より作成。

# なぜ今大学院無料化？

わが国の理工系人材の不足を解消する施策を受け、大学院の入学金と学費の実質無料化を導入

## MISSION



## VISION

地元経済の活性化のための高度技術者人材の育成と地元に残る人材供給の推進

現代社会の問題を解決する、グリーン・デジタル研究教育拠点を目指す若手研究人材の育成を推進

## VALUE

高度技術者を増やすべく、大学4年間だけでなく大学院へ進む学生を大幅に増やす

そのための家計の負担の緩和が必須課題なので、これを解決する

学びたい人が学びたい事を自由に学べる環境を作る

社会人も学べるリカレント教育を推進する

# 長崎総合科学大学の大学院

## 大学院工学研究科

### 博士課程

総合システム工学専攻（3名）  
生産技術コース  
環境技術コース  
情報技術コース

### 修士課程

生産技術学専攻（10名）  
環境計画学専攻（10名）  
電子情報学専攻（10名）

数字は入学定員

# 大学院授業料の減免を大幅に強化

## 減免の対象

主たる家計支持者（学生本人の父母又はこれに代わって家計を支えている者）の前年の収入金額が以下に該当する学生全員\*

- 給与所得者 ⇒ 源泉徴収票の支払額が 841万円以下
- 給与所得者以外 ⇒ 所得金額が 355万円以下

## 減免の期間

修士課程の場合は 2 年間、博士課程の場合は 3 年間

## 減免項目

入学金・授業料・および実験実習費の「**全額**」

## 実施時期

2023年10月入学者から

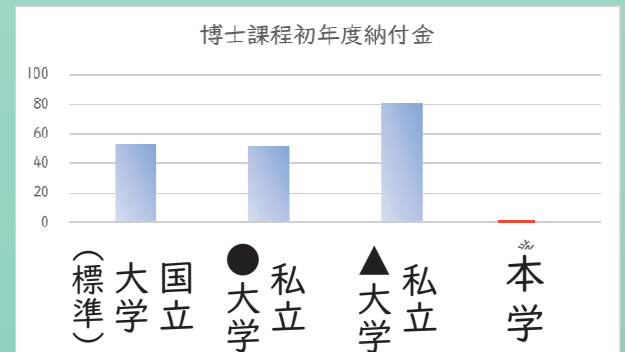
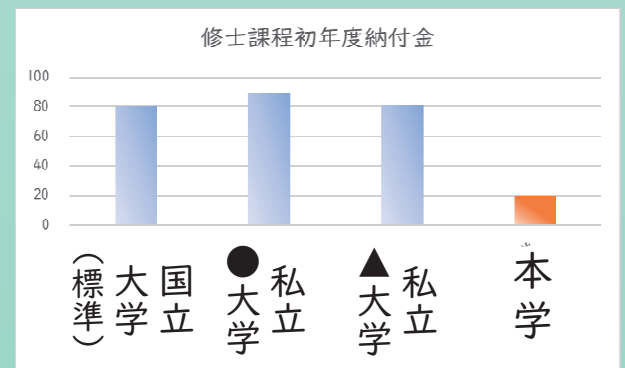
※在学生は来年度から対象（年度毎の申請が必要なため）

\* 日本人のみに適用（私費外国人留学生は従来より授業料の30%を減免）

# 学位取得までにかかる学納金の比較

	通常の学納金総額	減免後	
修士課程 (2年間)	入学金	12万円	<del>入学金</del> 12万円
	授業料	50万円 × 2年	<del>授業料</del> 50万円 × 2年
	実験実習料	16万円 × 2年	<del>実験実習料</del> 16万円 × 2年
	教育充実費	20万円 × 2年	教育充実費 20万円 × 2年
	<b>合計 184万円</b>		<b>合計 40万円</b>
博士課程 (3年間)	入学金	12万円	<del>入学金</del> 12万円
	授業料	40万円 × 3年	<del>授業料</del> 40万円 × 3年
	実験実習料	16万円 × 3年	<del>実験実習料</del> 16万円 × 3年
	<b>合計 180万円</b>		<b>合計 ゼロ</b>

## 初年度納付金額の比較



※内部進学として比較

# その他の大学院生に対する制度・補助等

様々な補助・アルバイトと組み合わせ、家計から自立した院生生活も可能に

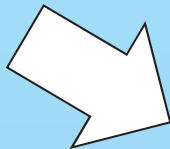
	学費 減免 との 併用	補助内容
日本学生支援機構奨学金	可	第一種奨学金（無利子）（月額：修士課程5万・8.8万円、博士課程8万・12.2万円のいずれか 第二種奨学金（有利子）（月額5・8・10・13・15万円より選択）
長崎総合科学大学奨励金	可	修士課程2年生を対象に学力、人格を対象に優れている者の勉学を奨励・援助するために、選考の上、奨学金を給付
ティーチング・アシスタント	可	学部教育のアルバイト（時給制）
リサーチ・アシスタント	可	研究補助のアルバイト（時給制）



# 学部と大学院の接続



全高校



附属高校

1年 2年 3年

入学金・授業料相当額を奨学金として支給(月額5,800円の納入)  
(A特待)

授業料相当額から5,000円を控除した額を奨学金として支給(月額10,800円の納入)  
(B特待)



附属高校卒業生は入学金免除  
入学料免除

1年	2年	3年	4年
授業料の全額免除 特待生A1 (10名)		学校長推薦 (1名) 特待生B1 (若干名)	
授業料の半額免除 特待生A2 (20名)		学校長推薦 (2名) 特待生B2 (16名)	
授業料の半額免除 スポーツ特待生 (6名)			
指定校推薦制度利用 1年 前期授業料20万円減免		授業料の全額免除 優待生 (8名)	
学費減免 授業料1/4減免 (全員)			

大学院

授業料等の減免

本学卒業生は入学金免除

7年一貫教育

修士9年、博士12年一貫教育

# 大学院につながる学部の人材育成プログラム

将来の出口を見据えた目標設定と修学支援のため人材育成プログラムを用意し、附属高校（3年）、大学（4年）、大学院（修士課程2年、博士課程3年）の一貫教育環境の推進により、シームレスな（継ぎ目がない）高度技術者の育成に取り組んでいきます。

## 人材育成プログラム

- グリーン&デジタル人材育成プログラム  
（再生可能エネルギーのデジタルによる運用ができる）
- AI・データサイエンス人材育成プログラム
- 半導体人材育成プログラム
- 経営情報システム人材育成プログラム
- 地域人材育成プログラム
- 女性エンジニア育成プログラム
- 女性研究者育成プログラム

正課・課外  
の履修

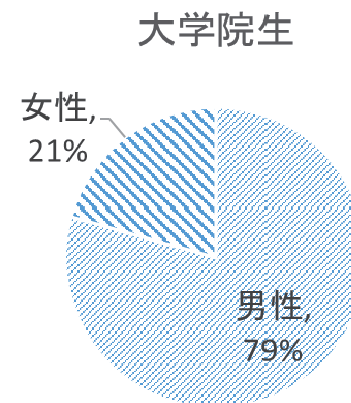
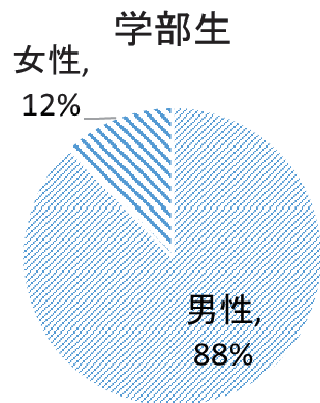
2025年度入試より  
学部になたな入試制度を用意

# 「総合型選抜（女性枠）」入試を新設

- DX・GX実現に必要な女性エンジニア・研究者を育成
- 多様な学生が学び合う環境を目指し、イノベーション創出を促進
- 募集人数は工学部5名、総合情報学部3名

## 求める人物像

DX・GXに強い関心を持ち、一定の基礎学力があり、将来ビジョンや学修意欲が明確で、論理的思考力やコミュニケーション力のある人を広く募集



# ひとつ先の風景へ

## LANDSCAPE OF FUTURE

変わっていく自然環境と人々の生活、本学で幅広く役立つ知力と技術を身に付け、自分なりの「ひとつ先の風景」を作っていきましょう。

